

製品安全データシート

作成日 2014.05.28
改訂日 2017.04.14

1. 化学物質等及び会社情報

商品名 Oil-stick white (オイルスティック ホワイト)
会社名 株式会社 タカノ
住所 群馬県太田市東金井町1237
担当部門 開発部
担当者 開発部長
電話番号 0276-22-6270
FAX 0276-22-6280

2. 危険性有害性の要約

GHS分類	分類基準に該当しない	
物理化学的危険性 引火性液体	現在のところ有用な情報なし	消防法危険物第4類第4石油類、危険等級Ⅲ
健康に対する有害性 急性毒性	現在のところ有用な情報なし	
皮膚腐食性／刺激性	現在のところ有用な情報なし	
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	現在のところ有用な情報なし	
皮膚感受性	現在のところ有用な情報なし	
発がん性	現在のところ有用な情報なし	
生殖毒性	現在のところ有用な情報なし	
環境に対する有害性 水生環境急性有害性	現在のところ有用な情報なし	

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分	混合物			公報公示整理番号		
成分及び含有量	表示成分	%	CAS 番号	化審法	安衛法PRTR	HSコード
	潤滑基油					
	流動パラフィン	0～80wt%	8042-47-5	9-1692	該当しない	NSF H1品
	炭化水素油	0～80wt%	68037-01-4 1例として	6-1109	該当しない	NSF H1品
	ポリエチレン	20～70wt%	9002-88-4	6-1	該当しない	390139100
	リン酸エステル (アミン中和)	0～5%	91745-46-9	2-1922	該当しない	2919 NSF H1品

4. 応急措置

目に入った場合 清浄な水で十分、もし刺激が残っていれば、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合 水と石鹸で十分に洗浄し、必要があれば皮膚用クリームなどを使用する。
吸入した場合 新鮮な空気の場所に移る。体を毛布などで覆い、保温して安静を保ち、必要なら医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合 無理に吐き出さず、速やかに医師の診断を受ける。

5. 火災時の 処置

消防方法 初期の火災には粉末、炭酸ガス、乾燥砂等を用いる。
大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効である。
注水すると火災を拡大させ危険な場合がある。
消化剤 粉末、炭酸ガス、乾燥砂、霧状の強化液が有効。

6. 漏出した時の措置

全ての着火源となるものを速やかに取り除き、漏れを止める。
漏れてしまったものはかき集め、密閉できる容器に回収する。
少量の場合は、ウエス、砂などで吸収させる。
室内で大量に漏出した場合は窓、ドアを開け、十分に換気を行う。
保有している潤滑基油、黒鉛は滑りやすいので歩行に注意する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

通常固体であるが、内部に含浸してある潤滑基油がにじみ出すので漏出に注意して管理する。
黒鉛や潤滑剤は滑り易いので床の散乱に注意する。
食べたり、飲み込んだりしない。
子供の手に届かない所に置くこと。
皮膚に触れたり、眼に入る可能性がある場合は保護具を着用すること。
蒸気、ミストなどを吸う恐れがある場合は呼吸器具等の保護具を着用すること。
炎・火花などの着火要因の接近を避けるとともに、不必要にガスなどを発生させないように注意すること。
石油製品を屋内で使用する場合にガス等が発生する場合、発生箇所の密閉、排気装置などを設けなくてはならない。
保管 類の異なる危険物(ハロゲン類 強酸類 アルカリ類 酸化性物質)との接触ならびに同一場所での保管を避ける。
取扱ごとに、容器の密閉を行うこと。
指定数量以上の量を取り扱う場合は、法で定められた基準を満足する貯蔵所、取扱所で行う。
容器の取扱い 直射日光を避け、暗所で換気の良い場所に保管すること。
容器に圧力をかけないこと。圧力をかけると破裂、破損につながる。
熱、炎、スパーク、静電気などにさらさない。
容器に穴あけなどの加工をしないこと。残留物が発火することがある。

8. 暴露防止措置

許容濃度 日本産業衛生学会(1999年度版) データなし (鉱物ミストとして)
ACGIH(1999年版) 時間加重平均(TWA) データなし (鉱物ミストとして)
設備対策 ミスト及び蒸気が発生する場合は、発生源の密閉化または防爆タイプの排気装置を設ける。取扱場所の付近に洗顔及び身体洗浄のための設備を設ける。
保護具 呼吸保護具 ミスト、蒸気が発生する場合は、防毒マスク(有機ガス用)を使用する。
保護眼鏡 ミスト、蒸気が発生する場合は、保護眼鏡を使用する。
保護手袋 長期間または繰り返し接触する場合には耐油性のものを使用する。
保護衣 長期間にわたり取り扱う場合または油で汚れる場合には、耐油性の長袖作業服等を着用する。油で汚れた衣類は完全に清浄にして使用する。

9. 物理/化学的性質

外観	白色または淡黄色の棒、ブロック、プレートや溝に埋設された状態。潤滑油が染み出している。
揮発性	なし
溶解度/水	不溶
密度	測定データなし
融点	測定データなし
流動性	-12.5以下(内部から染み出してくる潤滑油)
引火点	200℃以上
燃焼性	あり
発火性(自然発火)	なし
水との反応性	なし
酸化性	なし

10. 安全性及ぶ反応性

安定性	安定性 良 反応性 なし
危険有害反応可能性	なし
避けるべき条件	火源 日光 静電気
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	なし

11. 有害性情報

刺激性(皮膚、眼)	継続的または繰り返しの接触により、軽度の皮膚荒れを起こす場合がある。 眼に対しては軽微な刺激性を示す。
急性毒性(LD50)	潤滑油 基油 OSHA 高度精製基油 IARCグループ3(人に対する発ガン性について分類できない) EU EC理事会指令67/548/EEC 付属書I「危険な物質」に該当しない 5g/kg以上(rat) (推定値) 潤滑油添加剤 現在のところ有用な情報なし

その他

現在、有用な情報なし
飲むと下痢、嘔吐する可能性がある。
眼に入ると炎症を起こす可能性がある。
皮膚に触れると炎症を起こす可能性がある。
ミストを吸入すると気分が悪くなることがある。

12. 環境影響情報

分解性	現在、有用な情報なし
蓄積性	現在、有用な情報なし
魚毒性	現在、有用な情報なし
その他	現在、有用な情報なし

13. 廃棄上の注意

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」に定められた基準に従い、処理を行う。
事業者が自ら処理するか、知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には委託して処理する。
投棄禁止。
埋め立て処理を行う場合はあらかじめ焼却設備を用いて焼却し、その燃えがらについては「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」に定められた基準以下であること確認しなくてはならない。
燃焼する場合は安全な場所で燃焼または爆発によって損害を起こす恐れのない方法で行い、見張り人をおくこと。

14. 輸送上の注意

容器が著しく摩擦や動揺しないように運搬する。
容器を破損して漏れなどを起こさないようにする。
可燃性であるので「火気厳禁」の表示をするとともに、可燃性物質の取扱として扱うこと。

15. 適用法令

消防法	危険物第4類第4石油類 危険等級Ⅲ
労働安全衛生法	
化学物質審査規制法	(法 第57条の2 / 施行令 第18条の2 別表 第9)
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	既存化学物質名簿への記載 種別 第一種 16. その他の情報
廃棄物処理および清掃に関する法律	油分排出規制
海洋汚染防止法	油分排出規制
下水道法	鉱油類排出規制
輸出入貿易管理令	別表第1、(リスト規制) 5先端材料 (9) 作動油(10)潤滑剤 貨物スベックにて非該当 別表第1、16項(キャッチオール規制) 第28類 無機化学品 第34類 調整潤滑剤

16. 引用文献

製品安全データシートの作成方針(日本化学工業協会)
EC理事会指令「67/548/EEC」付属書I「危険な物質リスト」
IARC MONOGRAPHS ON THE EVALUATION OF THE CARCINOGENIC RISK OF CHEMICALS TO HUMANS VOLUME 33
Thresholds limit values for chemical substances and physical agents and biological exposure indices, AGGIH(1999)
許容濃度の勧告(1999)日本産業衛生学会 産衛誌 41巻
JIS Z 7250:2000 化学物質等安全データシート(MSDS)
化学物質排出管理促進法 PRTR法対象物質データ 経済産業省 HP
化学物質の表示・文書交付制度のあらまし 厚生労働省 HP
※このデータは作成時の知見において記載されており、データなどの十分な評価を行っておりません。
本製品の取り扱いには十分注意し、適正に取り扱ってください。

17. 改定履歴

2014.10.13	3. 組成、成分情報	炭化水素油を追加
2014.10.13	9. 物理/化学的性質	ブロック、プレートの形状を追加
2015.08.20	9. 物理/化学的性質	溝に埋設しているなどの文言を追加
2017.04.14	3. 組成、成分情報	配合量の特注対応のため、比率を調整